

# 戸塚駅東口周辺の混雑緩和に向けた取組

## 1. はじめに

「戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくりプラン」において、戸塚駅東口周辺の課題と挙げられている駅周辺道路の混雑や、東口駅前広場（バスロータリー）での路線バスの混雑などの実態を正確に把握するための調査を実施し、現況の課題を整理しました。

今年度は、これらの課題の解消に向け交通社会実験を実施します。

## 2. 課題の整理

令和3年度連絡協議会にて戸塚駅東口現況調査の結果に基づいた以下の課題を示しました。

### ■ 駅周辺道路の課題

#### 【県道 203 号線】(課題 1)

交差点付近での駐停車による対向車線への「はみ出し走行」が課題。



#### 【戸塚 556 号線】(課題 2)

道路上での駐停車による対向車への「はみ出し走行」や対向車同士の見合いが課題。



### ■ 暫定交通広場の課題 (課題 3)

戸塚駅を利用する一般車の乗降場として容量が不足しており、駐停車禁止の場所で駐停車されてしまうことが課題。



### ■ 東口駅前広場の課題 (課題 4)

朝夕ピーク時にはバス利用が集中するため、バス停に正着できず、乗客が車路で降車する状況となっており危険。また、東口駅前広場内に収まりきれないバスによる、県道 203 号線での混雑が課題。



## 3. 対応策と期待される効果

今回実験対象

課題 1：車道の幅員を狭めて、交差点付近で停車し難い環境をつくる。

⇒交差点付近での駐停車の抑制を図ることで、はみ出し走行や後続車の滞留などが無くなり、安全面と交通の流れが改善される。

課題 2：現在、相互通行の道路を一方通行へ変更する。

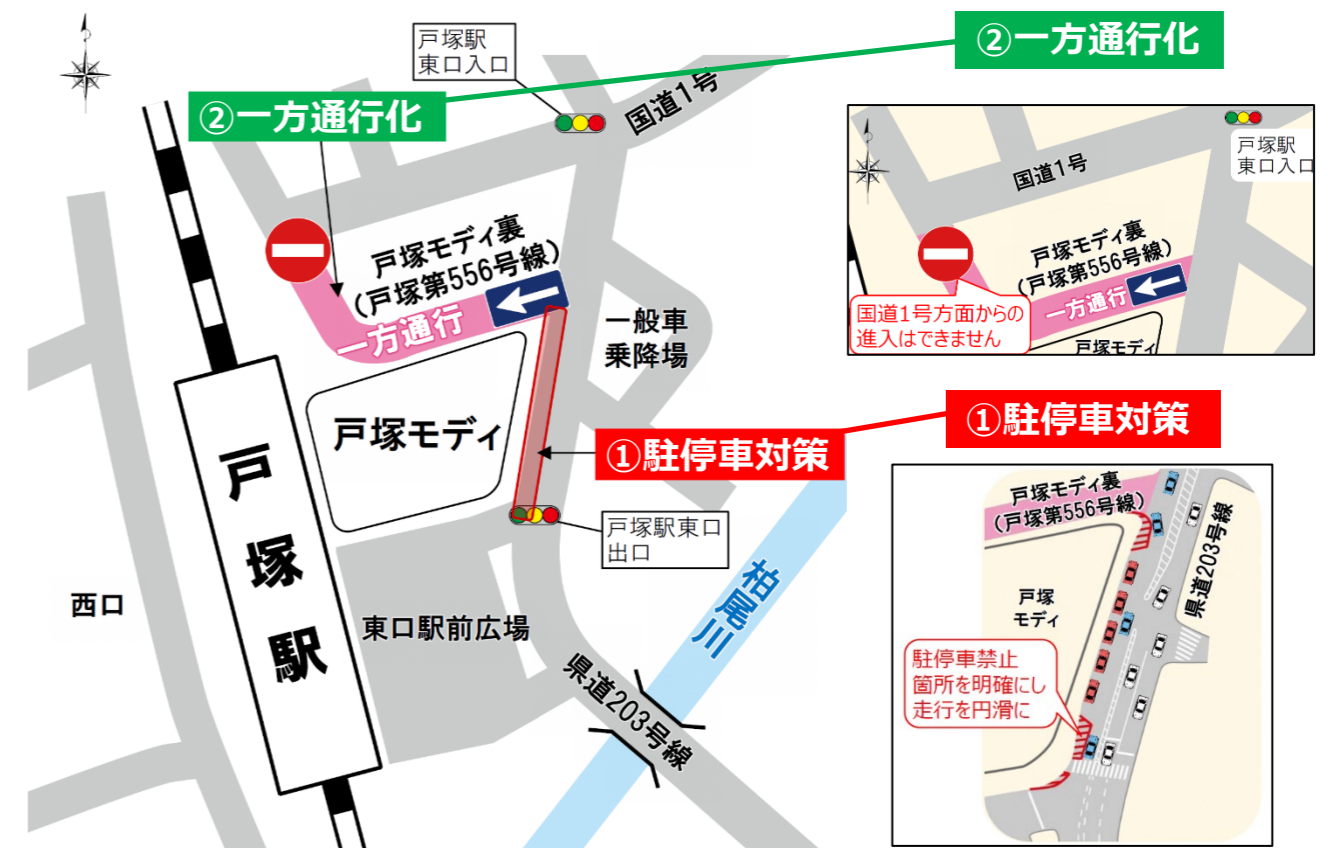
⇒はみ出し走行や対向車と見合うことが無くなり、安全面が改善される。

課題 3：引き続き検討（周辺道路の駐停車対策やバス・タクシーの再編の動向を踏まえた暫定交通広場のさらなる活用など）

課題 4：引き続き検討（バス路線の一部移転や広場全体の再編成など）

## 4. 交通社会実験の実施

実施予定日：令和4年11月23日(水・祝)～11月29日(火)



## 5. 今後のスケジュール

交通社会実験の実施結果について効果検証を行い、対策実施方針（案）を策定します。

効果検証結果及び対策実施方針（案）については、策定し次第、連絡協議会に報告を行います。

